

## 天満屋倉敷店 2018年2月の画廊予定

### ◎4階美術画廊

会 期	内 容
1/31(水)～2/5(月)	<p>～時の音色 森の旅人～ 川原崎純子 風のおるごーる展</p> <p>京都で天然木を使用した創作オルゴールを制作している川原崎純子先生の展覧会です。製材からデザイン、パーツの加工・構成、音色の表現まですべてご自身で手掛け、細部にわたり1点1点手作りされた作品は、可愛いデザインと色彩でメルヘンの世界へ誘います。オルゴールが奏でるやさしい音色とメロディー、そして木のぬくもりが伝わる心癒される作品約50点を出品いたします。</p>
2/7(水)～2/12(月・振)	<p>—歴史と伝統の流れを今日に— 現代ヨーロッパ絵画展</p> <p>長い歴史の中でそれぞれが独自の文化を繁栄させてきたヨーロッパ。本展では各国の美術画壇で現在活躍中の人気作家によるヨーロッパの香り高い油彩画・水彩画を集め一堂に展覧いたします。風景画から抽象画まで日本人にはない感性で描かれた作品約30点を出品いたします。</p>
2/14(水)～2/19(月)	<p>五星会 —それぞれの今—</p> <p>表現方法や年齢などを異にし、様々な立場で創作活動をされている新鋭作家五人の絵画展です。各作家約5点を出品いたします。          &lt;出品作家&gt;高松秀和(洋画)、坂元忠夫(洋画)、井上慎介(洋画)、よしざわようこ(洋画)、飴本崇久(洋画)</p>
2/21(水)～2/26(月)	<p>山本達長織部展</p> <p>鳥根県出雲市で美濃焼の一種である織部の器を中心に制作している山本達長先生の倉敷天満屋初個展です。青織部、総織部、鳴海織部、弥七田織部など何種類もある伝統的な織部をもとに新しい発想とセンスで淡い色から深い色まで緑色の濃淡を巧みに使い分けた美しいグラデーションや鮮やかな発色が印象的な花器、陶板、酒器、食器など約80点を出品いたします。</p>
2/28(水)～3/5(月)	<p>小橋順明 陶展</p> <p>隙のない端正な形の急須や細工物に定評がある小橋順明先生の倉敷天満屋3回目の個展です。1997年より、香川大学教授で現代陶芸家の倉石文雄氏のもとで美術陶芸を専攻し、同大学大学院修了後、備前焼伝統工芸士の鷹取閑山に師事。近年は備前焼による昆虫シリーズを精力的に発表され話題を呼んでいます。今展では急須や細工物を中心に花入、酒器、食器など新作約100点を出品いたします。</p>

作成：美術画廊担当 国光

営業時間 毎日午後6時閉場 ※2/7(水)は棚卸のため午後4時閉店

※2/6・13・20・27は閉廊日

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

お問合せ  
 天満屋倉敷店 販売計画  
 TEL 086-426-2205  
 FAX 086-426-1136

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。